

修士論文（要旨）

2022年1月

中国人学習者に見られるダケの誤用分析
－誤用実態と要因の分析を中心に－

指導 茶谷 恭代 准教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

220J3007

劉 何イ

Master's Thesis(Abstract)
January 2022

Error Analysis of Dake by Chinese Students: An Analysis of Actual Uses and Factors

Hewei Liu
220J3007

Master's Program in Japanese Language Education
Graduate School of Language Education
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Yasuyo Chatani

目次

1. はじめに.....	1
1.1 背景.....	1
1.2 研究目的.....	1
2. 先行研究.....	1
2.1 日本語文法の視点からの先行研究.....	1
2.2 学習者の視点からの先行研究.....	2
3. 研究の対象と方法.....	4
4. 「だけ」の誤用実態の分析.....	5
4.1 「助詞との結合」についての誤用.....	5
4.2 名詞句ダケ文とダケダ文についての誤用.....	6
4.3 「限定の濫用」についての誤用.....	6
4.3.1 「だけ」の重複.....	6
4.3.2 理由を限定する場合の誤用.....	7
4.3.3 「数量語+だけ」の誤用.....	7
4.3.4 微妙な誤用.....	10
4.4 「だけ」と「しか」の混用についての誤用.....	10
4.5 中国人学習者の発話に見られなかった「だけ」.....	11
5. 誤用の特有性の検証.....	11
6. 教材分析.....	13
6.1 分析対象とする教科書.....	13
6.2 『総合日本語』について.....	14
6.2.1 「NしかVません<限定>」.....	14
6.2.2 「だけ」.....	15
6.2.3 「だけ<相応的程度>」.....	17
6.3 『標準日本語』について.....	18
6.3.1 「だけ」と「しか」.....	18
6.3.2 「～だけで」.....	21
6.3.3 「文+だけ(の)～」.....	22
6.3.4 「～だけだ」.....	23
6.4 『みんなの日本語(中国語版)』について.....	24
6.4.1 「数量語だけ/名詞だけ」.....	25
6.4.2 「しか」.....	25
6.4.3 「～だけだ」・「(ただ)～だけでいい」.....	26
7. まとめと今後の課題.....	28

参考文献

教材分析の資料

要旨

「だけ」は初級段階で導入され、使用頻度が非常に高い表現である。述語の制限がないため、さまざまな文に用いることができる。しかし、中国人学習者には「この本は1000円だけだ」「一年だけ日本語を勉強したので、あまり上手ではない」などの誤用がよく見られ、「だけ」を不自然に多用する傾向がある。

これまでの先行研究では、日本語文法の視点から「だけ」の機能または使い方が明らかにされてきた。例えば、安部(1999)は「実体験を書いただけだ」というダケダ文には「不十分である」といったニュアンスが感じられるが、「実体験だけ書いた」という名詞句ダケ文には感じられないと述べている。また、三枝(1988)では、「だけ」と助詞の結合法がまとめられている。しかし、実際に学習者がダケダ文と名詞句ダケ文をどのように理解し、使用しているのか。また、学習者にとってどの助詞との結合が間違えやすいのかについてはまだ明らかにされていない。

そのため、本研究は中国人学習者を対象にし、「だけ」に関する学習者の誤用実態を明らかにすることを目的とする。また、中国人向けの教科書における「だけ」がどのように扱われているのか、中国人向けの教科書を考察することを通し、改善策も提案したい。

分析方法として、まずは中国人学習者と日本語母語話者、中国語以外を母語とする学習者を対象にし、「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」「日本語学習者作文コーパス」「現代日本語書き言葉均衡コーパス」「日本語日常会話コーパス」この4つのコーパスを使い、「だけ」に関する使用例を集めて分析した。中国人学習者の誤用のタイプや特性、または母語話者との使用の違いを明らかにした。その上で、中国人学習者向けの『総合日本語』『標準日本語』『みんなの日本語(中国語版)』この3種類の教科書を対象にし、「だけ」と「しか」に関する文法項目の導入や練習問題を分析し、問題点に対する改善策も提案した。

分析の結果、中国人学習者の誤用を「助詞との結合」「名詞句ダケ文とダケダ文の混用」「限定の濫用」「ダケとシカの混用」「学習者に見られなかったダケ」という5つのタイプに分類した。その中で、「名詞句ダケ文とダケダ文の混用」「限定の濫用」「学習者に見られなかったダケ」この3種類の誤用は中国語以外を母語とする学習者に見られなかったため、中国人学習者特有の誤用である可能性があると考えられる。まず、「名詞句ダケ文とダケダ文の混用」について、中国人学習者は「不十分」と感じられる文で名詞句ダケ文を使ってしまう傾向があるとわかった。この点に対して、教科書としては、意図を持って意味的な違いが読み取りやすい例文を選ぶことが重要だと考えられる。次に、「限定の濫用」について、主には「数量語+だけ」という用法の誤用である。中国人学習者は「一年生」または「8歳」などの不適切な言葉を数量語だと考え、「だけ」で限定する傾向があるとわかった。この点に対して、教科書としては「数量語+だけ」の用法に制約があることを学習者にきちんと伝えるべきだと思われる。最後に、「学習者に見られなかったダケ」について、「できるだけ」という表現が中国人学習者によく使用されているが、同じ用法である「好きなだけ」などの表現が学習者に回避されていることがわかった。この点に対して、教科書としては具体的な接続の仕方をはっきり学習者に提示すべきだけでなく、学習者自身が動詞を変形し、文を作る練習問題も多く用意すべきだと考えられる。

参考文献

- 安部朋世「ダケの位置と限定のあり方—名詞句ダケ文とダケダ文—」『日本語科学』(6)、32-48、1999-10.
- 菊池律之「台湾人日本語学習者の助詞「で」にかかわる誤用について—中国語の'在''到'との対応を中心に—」『外国語教育:理論と実践』(41)、1-10、2015.
- 三枝令子「「だけ」の用法」『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』(3)、15-27、1988-08.
- 定延利之「探索と現代日本語の「だけ」「しか」「ばかり」」『日本語文法』1-1、111-136、2001、くろしお出版.
- 竹島奈歩「中国語を母語とする学習者の作文に見られる誤用分析」『同志社大学日本語・日本文化研究』(9)、43-58、2011-03.
- 中村ちどり「日本の取り立て助詞と限定詞・名詞句フォーカス」『言語と文化・文学の諸相』263-274、2008-03-21.
- 中西久実子『現代日本語のとりたて助詞と習得』2012. ひつじ書房.
- 中西久実子「「名詞+だけだ」が不自然になる原因:—「弟は10歳だけだ」はなぜ不自然なのか—」『日本語教育学会』159(0)、17-29、2014.
- 中西久実子「なぜ「数量語+だけだ」は不自然になりやすいのか」『国立国語研究所論集』(14)、193-207、2018-01.
- 日本語記述文法研究会編『現代日本語文法⑤』2009. くろしお出版.
- 丸山直子「副助詞「くらい」「だけ」「ばかり」「まで」の、いわゆる〈程度用法〉と〈とりたて用法〉」『日本文学』(95)、141-162、2001-03-15.
- 山本忠行「「だけ」の導入をめぐって—少量表現として教えたのはだれか?」『創価大学別科紀要』(19)、1-28、2008.

教材分析の資料

『総合日语 第一冊』2009（修訂版）. 北京大学出版社.

『総合日语 第二冊』2010（修訂版）. 北京大学出版社.

『新版 中日交流 标准日本語 初級上』2005（第二版）. 人民教育出版社.

『新版 中日交流 标准日本語 初級下』2005（第二版）. 人民教育出版社.

『新版 中日交流 标准日本語 中級上』2008（第二版）. 人民教育出版社.

『新版 中日交流 标准日本語 中級下』2008（第二版）. 人民教育出版社.

『新版 中日交流 标准日本語 高級上』2012（初版）. 人民教育出版社.

『新版 中日交流 标准日本語 高級下』2012（初版）. 人民教育出版社.

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 中国語版』2012（第二版）. スリーエーネットワーク.

『みんなの日本語 初級Ⅱ 翻訳・文法解説 中国語版』2014（第二版）. スリーエーネットワーク.

『みんなの日本語 中級Ⅰ 翻訳・文法解説 中国語版』2009（初版）. スリーエーネットワーク.

『みんなの日本語 中級Ⅱ 翻訳・文法解説 中国語版』2012（初版）. スリーエーネットワーク.